

可児市図書館 井上靖生誕100年展  
足跡パネルでたどる

NHKの大河ドラマの原作「風林火山」や「氷壁」などで知られる作家、井上靖の生誕百年展が、可児市図書館で開かれている。二十九日まで。

展示では作家の八十三年間の生涯を、写真入りのパネルでたどる。小説や随筆などの単行本、新聞小説のスクラップなど資料も並んでいる。

井上靖は一九七八年、同図書館が町立として開館した際、記念講演会の講師としてこの地を訪れた。

文化勲章受章の二年後だったが、可児市在住の故小坂光之介氏の招きで講演が実現した。小坂氏は旧制四高時代の柔道仲間で、作中の登場人物のモデルにもなるなど交流が深かった。展示ではそのエピソードも紹介している。(小川邦夫)